



『であい、ふれあい、そして未来へ』~自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成~

## \$ 冬休み中の工事に注意を!! \$ ←お知らせ

明星第28号でお知らせしました通学路の工事を冬休み中に行うとの連絡がありました。場所は、学校から上白木へ降りる道で、コンクリートの階段があるところです。現在は応急処置として、簡易的なポールにロープが設置してあります。冬休みに正式に工事を行っていただきますので、注意してください。

また、これからの時節、路面の凍結や積雪で滑りやすくなることもありますので、登下校時は十分注意してください。ポケットに手を入れて歩くことは危険です。

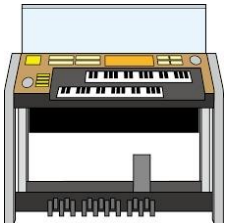
## \$ エレクトリック オルガンの音色を鑑賞しました \$

↑12月16日(月)

近年、PCをはじめ、携帯電話(スマートフォン)やゲーム機器等情報機器の発達にはめざましいものがあります。また、音楽関係についても電子機器=楽器が多く使われています。

今回、アウトリーチ活動で、電子オルガン奏者の杉村 侑香さんをお迎えして、全校児童で鑑賞しました。杉村さんは3歳から電子オルガンを始められたそうで、色々なジャンルの音楽に親しまれてみえます。愛知県を中心に様々な場所で演奏活動をされています。子どもたちが生の演奏を聞くことで、音楽への興味関心、感性を高めてほしいと思います。

22日(日)にも市文化会館で演奏会をもたれるそうです。



## \$ 炭(C)焼きに挑戦 Part2 \$ ←12月16日(月)に炭の取り出し

昼休みに、12月3日(火)窯入れをした原木を取り出しました。13日前に入れた原木が炭に変わりました。朝から、三谷久夫CS会長さん、浅野重信顧問さん、明石 浩CS事務さん、林 次雄まち協会会長さんにお世話になって準備していただきました。ありがとうございます。1年生の子どもたちにとっては初めてのことで、あの重たかった木がこんなに軽く炭に変わったことに驚いていました。



## \$ すみがく：思いやりとは・・・「はしのうえのおおかみ」 \$ ←12月9日(月)

5限目に藤尾先生、子どもたちと亀山中学校区人権フォーラムに参加した6年生の子どもたちから、その時に話し合われたことの報告を聞いた後、「思いやりをもって考えよう」をテーマに、「はしのうえのおおかみ」をもとに考えました。「はしのうえのおおかみ」（1年道徳教材）の前半を聞き、「思いやりをもつ」とはどういうことなのかをなかよし班で話し合い、一人ひとりの意見や考えを出し合いました。

より良い人間関係を築くには、相手に対する「思いやり」が不可欠です。「思いやり」とは、相手の立場を押し量り、自分の思いを相手に向けてすることで「思いやり」は、具体的に温かく見守りながら接することや相手の立場に立った励ましや援助等を含む色々な親切な行為として現れます。子どもたちにとって、まずは身近な人に広く目を向けて、温かい心で接し、温かい心をとどけたいという気持ちを深めることが大切だと思います。

特に、体験学習（身近にいる幼い人や高齢者の方等との直接的なかかわり合い）を通して、相手のことを考え、優しく接し、具体的に親切な行為ができるようにすることが必要であると思います。そうして、多くの人とかかわっていく中で、親切にした方もされた方も互いに温かい気持ちになり、人間関係を和やかなものにしていけることに、今後の活動を通して体感してほしいと願っています。

- オオカミだけ一本橋をひとりじめしてたけど、くまさんのやさしさがうれしかったから、みんなにもしたからいいなとおもった。これから、じぶんはみんながきもちよくできるようにしたい。
- やさしいことをしていきたいなと思いました。考えたらしたほうがいいのかと思ったし、いろんなやさしいこともしていきたいなと思いました。
- 今日のすみがくをしておもったことは、おもいやりということは大切だとおもいました。自分もおもいやりをあまりもっていないので、もっともともちたいとおもいました。
- きづいたことは、みんなたすけあいをしていかないといけないことです。だから、これからはいろいろな人とかかわってたすけあっていきます。
- わたしは、みんなが笑顔でしあわせになれるように考えました。そう言うおもいやりがあると、みんな笑顔になれると思います。
- 思いやりをいしきて行動していきたいと思いました。人権ひょう語は、あったかくえがおで幸せになるのだと思うので、人権ひょう語は大切なものだと思います。

### 子どもたちの感想から



はしのうえのおおかみ

「えへん、えへん。」  
 おおかみは、いいきもちです。それからと、いうもの、  
 おおかみは、このいじわるが、おもしろく、なりました。  
 きつねが、きても、たぬきが、きても、  
 「こら、こら。もどれ、もどれ。」  
 と、みんなを、うしろに、おいかせました。  
 ある、ひの、ゆうがた、おおかみが、いつものように、はしを  
 わたっている、はしの、まんなかで、だれかに、ぶつかりました。  
 「こら、こら。」と、いいかけて、おおかみは、びつくりしました。  
 めの、まえに、おおきな、くまが、たつて、いたのです。おおかみは、  
 あわてて、おじぎを、しました。  
 「これは、これは、くまさんでしたか。わたしが、うしろに、もどり  
 ます。」すると、くまは、てを、ふって、いいました。  
 「いや、いや、おおかみくん。そんなこと、しなくて、いいんだよ。  
 ほら、こら、すれは、いいのさ。」くまは、おおかみを、だきあげる  
 と、そっと、うしろに、おろして、くれました。  
 おおかみは、ふしぎな、きもちに、なつて、くまの、うしろすがた  
 を、いつまでも、みおくら、て、いました。  
 つぎの、ひです。おおかみは、いっぼんはしのまんなかで  
 うさぎに、あいました。うさぎは、あわてて、ひきかえそうと  
 しました。おおかみは、やさしく、よびとめました。  
 「いや、いや、うさぎくん。そんなこと、しなくて、いいんだよ。ほ  
 ら、こら、すれは、いいのさ。」おおかみは、うさぎを、だきあげて、  
 そっと、うしろに、おろして、あげました。  
 「えへん、えへん。」いいきもちです。ふしぎな、ことに、おおかみ  
 は、まえより、ずっと、いい、きもちになりました。

やまの、なかに、いっぼんはしが、ありました。  
 ある、あさ、うさぎが、ゆつくりと、はしを、わたつて  
 いると、むこうから、おおかみが、やつて、きました。  
 「こら、こら」  
 と、おおかみは、うさぎを、にらみつけました。  
 「おれが、わたつて、きたのに、きが、つかなかったのか。もどれ  
 もどれ。」  
 おおかみに、どなられて、うさぎは、しかたなく、うしろに  
 もどりました。  
 「えへん、えへん。」  
 おおかみは、いい、きもちです。それからと、いうもの、  
 おおかみは、このいじわるが、おもしろく、なりました。  
 きつねが、きても、たぬきが、きても、  
 「こら、こら。もどれ、もどれ。」  
 と、みんなを、うしろに、おいかせました。  
 ある、ひの、ゆうがた、おおかみが、いつものように、はしを  
 わたっている、はしの、まんなかで、だれかに、ぶつかりました。  
 「こら、こら。」と、いいかけて、おおかみは、びつくりしました。  
 めの、まえに、おおきな、くまが、たつて、いたのです。おおかみは、  
 あわてて、おじぎを、しました。  
 「これは、これは、くまさんでしたか。わたしが、うしろに、もどり  
 ます。」すると、くまは、てを、ふって、いいました。  
 「いや、いや、おおかみくん。そんなこと、しなくて、いいんだよ。  
 ほら、こら、すれは、いいのさ。」くまは、おおかみを、だきあげる  
 と、そっと、うしろに、おろして、くれました。  
 おおかみは、ふしぎな、きもちに、なつて、くまの、うしろすがた  
 を、いつまでも、みおくら、て、いました。  
 つぎの、ひです。おおかみは、いっぼんはしのまんなかで  
 うさぎに、あいました。うさぎは、あわてて、ひきかえそうと  
 しました。おおかみは、やさしく、よびとめました。  
 「いや、いや、うさぎくん。そんなこと、しなくて、いいんだよ。ほ  
 ら、こら、すれは、いいのさ。」おおかみは、うさぎを、だきあげて、  
 そっと、うしろに、おろして、あげました。  
 「えへん、えへん。」いいきもちです。ふしぎな、ことに、おおかみ  
 は、まえより、ずっと、いい、きもちになりました。

